

東員町ゼロカーボン実現計画（案）に対する意見と町の考え方
パブリックコメントの実施結果を公表します。

東員町ゼロカーボン実現計画（案）に関する意見を募集したところ、町民の皆様からご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見とそのご意見に対する本町の考え方について、次のとおりとりまとめたので公表します。

パブリックコメント実施結果の概要

- 1 意見募集期間 令和6年1月30日（火）～ 令和6年2月29日（木）
- 2 意見提出者 1名
- 3 意見総件数 5件
- 4 回答数 5件（意見を受けて加筆・修正したもの0件）

番号	ページ	ご意見	町の考え方	修正の有無
1	23	「6・4目標達成に向けた取組」にありますように、公用車の更新時に低燃費車両導入、LED照明の導入したという東員町の取組状況の報告はC評価からA評価に改善しているの、東員町の庁舎内の二酸化炭素排出量削減の取組は、とても評価できると思います。 再エネ電力調達推進、省エネ機器の導入、自動車利用の抑制、リサイクル製品などの率先調達、紙類使用料削減などの取組をしていく方針だという、当東員町ゼロカーボン実現計画の内容に賛同します。	東員町役場の事務事業に係る温室効果ガス排出量の削減目標（2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度排出量から52%削減）を達成できるよう、本計画の方針に基づき各施策に取り組みます。	無
2	25	「廃棄物の3R+Renewable」について、桑名・員弁広域環境基本計画では「小学校等へのごみに関する出前講座」とありますが、これについてはコロナ禍であったために、出前講座は実施できなかったと思われます。コロナがおちついてきたら、再び小学校等への出前講座などの実施で、子どもたちへの環境教育に力を入れていただきたいと思います。	小学生への出前講座を今年度も実施しました。また、町民向け出前講座も複数回実施しています。本計画冊子を生徒に配布する等、今後も関係機関と連携し環境教育の充実を図ります。	無
3	30～34	環境基本計画の町民アンケートの結果（「環境意識調査R4年9月実施、「R4まちづくりセミナー参加者アンケート」R5年3月実施）があり、町民の意識の現状把握と町の課題を浮き彫りにされていて、実態がわかりやすくて良いと思います。	アンケート回答者のうち、88%が地球温暖化の問題に関心があり、80%は自分の生活のエネルギー消費量の一部を削減できると回答しています。計画を通じてみなさん自身が温室効果ガスの削減につながる行動を知り、実践できるようになればと考えています。	無

番号	ページ	ご意見	町の考え方	修正の有無
4	39	<p>⑧廃棄物の項に、2013年度に比べて2019年度は生活系の一人一日当たりのごみの排出量が7%減少したという報告があり、東員町のごみ減量化の取組を評価します。</p> <p>なかでも「NPO法人生ごみリサイクル思考の会」の取組を理解され、協力される町民の方が増えていくと良いと思います。このような市民活動団体が活動の継続困難なこと（高齢化などの理由により等）があれば、例えばその活動についての広報啓発活動等のサポートを町でしていただければと思います。今後も引き続きごみ減量化を進めるために、周知啓発とともに、町民一人一人がごみ減量化の必要性を納得して実行できるように、取り組みの継続を全町民で取り組んでいけると良いと思います。</p>	<p>今後もごみ減量化に向け周知啓発に努めます。</p>	無
5	表紙	<p>計画の名前だけだと、なじみがないし、堅がるしいものでありますが、親しみのある副題がついていることで、気分的に身近なものになりますね。グッドアイデアだと思います。「おみごと」という総合計画のキャッチフレーズそのまま使うのは、総合計画に準じているというような、統一感があり、良いですね。</p> <p>表現の受け止め方ですが、“幸せちょこっと”という表現がわざわざ付けられていると、ややもすると正反対に受け止められる気がします。「幸せがほんの少ししかないのか・・・。」というようなニュアンスが伝わるようにも危惧されるため、以下の修正提案です。</p> <p>“幸せちょこっと”→“ちょこっと幸せ”あるいは、</p> <p>“幸せちょこっと”→“小さな幸せ”です。</p> <p>いずれにせよ、町民の方に身近に感じてもらうとか、気軽に取り組んでもらえるために、効果的な副題をつける、ということに大賛成です。</p>	<p>いただいたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	無